

<テーマ>

合成化学の視点からみた医薬品開発プロセスの魅力と挑戦 ～大学での研究と企業の研究の違い～

医薬品開発には、創薬化学による医薬品の新たな種を発見するイメージが強いかもしれませんが、実際には多くの患者に届けるための、「大量に作る手法」を開発するプロセス化学の役割が必須です。本講演では一般的なプロセス化学の概要と中外製薬におけるプロセス開発の実例を通して、その魅力を伝えます。

また、アカデミアの融通自在性は創薬プロセスにおいて大きな利点を持ちます。大学の教員は独自の研究アプローチを追求し、長期的な目標に向けた取り組みが可能です。さらに、教育と研究の両立によって優秀な若手研究者の育成を担うことができます。今回の講演では、異なる立場や環境下で開発した生物活性物質の創製過程について、アカデミアの利点と絡めた内容で紹介したいと思います。

日時 : 2023年10月27日(金) 14:40～17:00

**場所 : 関西大学 千里山キャンパス
学術フロンティア・コア 3階会議室**

14:40 – 14:55 講演 1

『医薬品開発研究における有機化学の果たす役割』

関西大学 化学生命工学部 教授 大洞 康嗣

15:00 – 16:00 講演 2

『医薬品開発におけるプロセス化学の役割と魅力について』

中外製薬株式会社 製薬技術本部製薬研究部プロセス化学4G
グループマネージャー 木村 昌寛 氏

16:00 – 17:00 講演 3

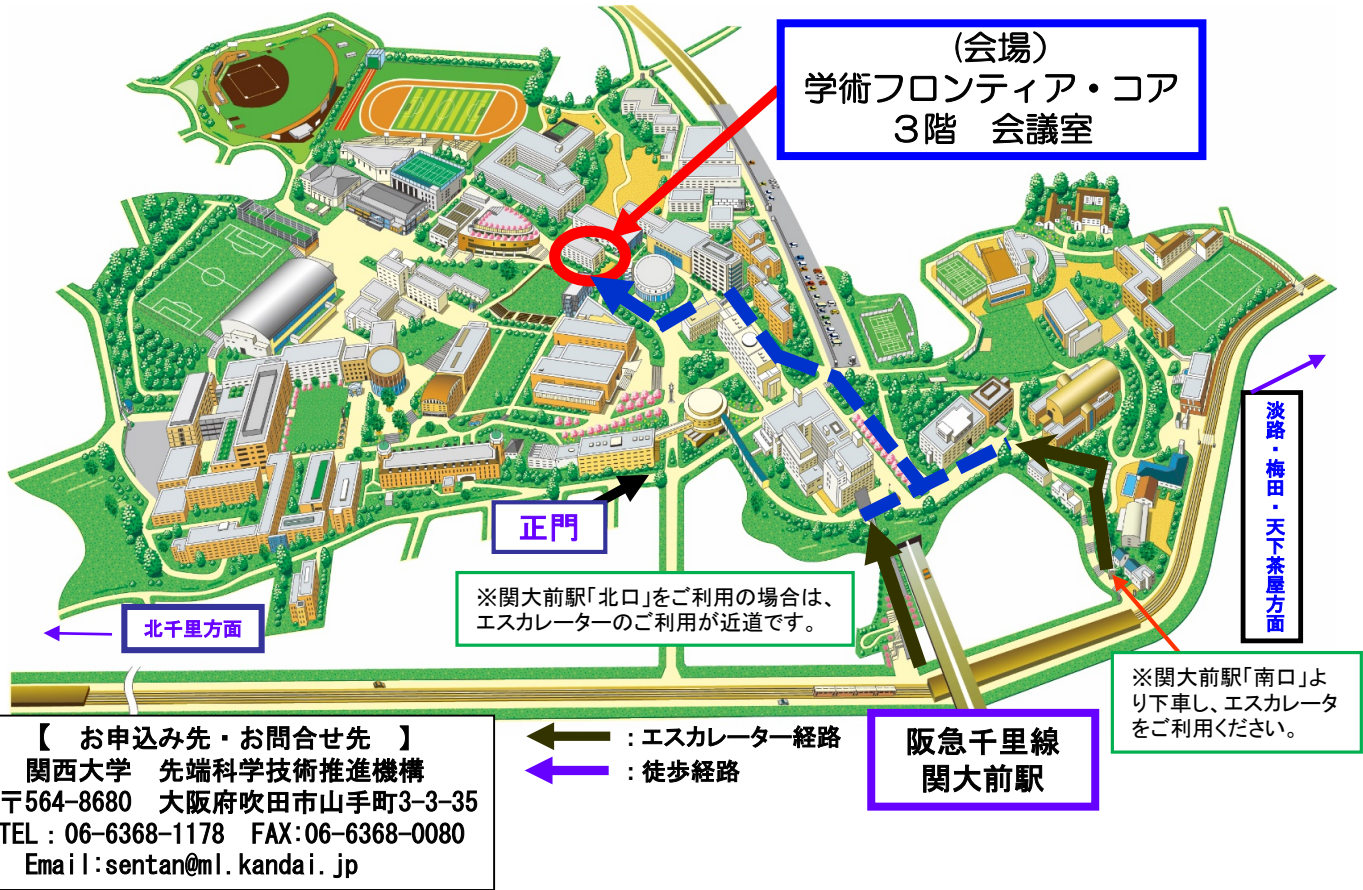
『創薬プロセスにおけるアカデミアの融通自在性の利点』

東京薬科大学薬学部 医療衛生薬学科 准教授 青山 洋史 氏



◀◀ 上記講演の詳細につきましてはこちらへアクセスしてください。

関西大学 千里山キャンパス



FAX送信票

Fax: 06-6368-0080

関西大学 先端科学技術推進機構 行
 関西大学 研究部門別発表会(第67回) 申込書

会社・所属 (役職名)	()	(ふりがな) 氏 名	
ご住所	〒 —		
電話番号	()	E-Mail	@
(学生の方)	所属学部・学科・研究科 ()		

■個人情報の取り扱いについて■

ご提供頂きました個人情報は、本研究部門別発表会開催に際しての管理・連絡のために使用するとともに、関西大学からの産学官連携事業、地域連携事業でのお知らせに使用させていただきます。